

“KANAGAWA” 福祉タイムズ

2004 **7** No.632

発行日 2004年（平成16年）7月15日
毎月1回15日発行
発行所 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
TEL045-311-1423 FAX045-312-6302
http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/
編集発行人 平本邦夫
定価 100円（税・郵送料込）
印刷所 株式会社 神奈川機関紙印刷所
昭和27年1月30日 第三種郵便物認可



「本人の立場に立ち考える」「湘南ふくしネットワークオンブズマン(Sネット)」事務局長の江崎康子さん(中央)は、障害者親の会運動の中でオンブズマンと出会い、親として子を守ることと本人の権利を擁護することは別次元のことだと認識させられたという。「相談者が思いが叶ったと満面の笑みを湛えて報告に来てくれた時、素晴らしいご褒美を頂いたと思った」。一市民として参加する永峯千尋さん(右)は、「専門家と違う目線で相談者の声を聴き、思いを代弁していただけるのだと思う」と話す。(写真・文 菊地信夫)

あんぐる

ある経済誌の特集に「辞めるな！若造」というものがありました。若者の早期離職が止まらない状況を取り上げたこの記事によると、中卒者で七割、高卒者で五割、大卒者で三割が入社後三年以内に会社を辞めているそうです。「シチゴサン現象」と呼ばれているとのこと。

早期離職の主な理由は、①本当に入りたい会社ではなかった、②入社後に理想と現実のミスマッチを発見（配属先や待遇面等）、③一回辞めても次があるという安心感（転職が増えている又はフリーターという手も）など。

民間会社ではそんな若者たちを育てていくために、職員の採用や研修などに多くの費用を掛けています。

これらのことは、私たちの福祉職場においても同様に捉え、考えていくべき課題ではないでしょうか。経済状況が悪いから増員は望めませんが、欠員補充などの職員採用はありますよね！！

新人職員にとつていかに魅力的でやりがいのある職場にするか、職種や配属のミスマッチをどう防ぐか等々課題は多いですが…。

採用や研修のあり方、若手の管理職登用など創意工夫を凝らし、魅力ある職場づくりや人材育成を本気で考える必要があります。

横浜市社協地域活動部長 小嶋正夫

目次……………CONTENTS

- 福祉オンブズパーソン活動と社会福祉施設……………2・3
- 「福祉サービスマン第三者評価推進機構」発足……………4
- 福祉作文・ともしびポスター・絵本作品集……………5
- 企業界の成功者から経営者の姿勢を学ぶ……………6
- 長寿社会開発センターいきいきはつらつ……………7
- 連載・つながりをもとめて(4)……………10・11